

●第二分科会概要

開催日時：令和4年7月8日（金）午後7時30分

議 題：山古志地域の新たな医療体制づくりについて

1 現状

- ・佐藤医師の退職希望がある。
- ・募集をしても応募がなかったり、条件が合わない。

2 中央病院の意見

- ・山古志の地域医療をなくすことは避けたい。
- ・今後、山古志のような地域が増える。将来の診療体制のモデルになるようにしたい。
- ・週2回の診察(往診なし)であれば協力できる。オンライン診療も導入したい。
⇒ オンライン診療を実施したとしても、2週に1回は診察が必要。

3 市の意見

- ・中央病院との体制をまずは構築する方向で進めたい。
- ・同時並行で医師募集を進める。
- ・オンライン診療を試験的に山古志で導入したい。
(※診療所に患者から来ていただき、そこにいる看護師と医師を繋いで行う。)
- ・引継ぎカルテの作成は、7/11の週から始める。

4 意見交換

- ・週2回の診療なのであれば、山古志診療所のみによいのではないか。
⇒ 住民へ紙一枚だけではなく、丁寧に説明をする必要がある。(小学校の統合時に行った、住民と意見交換を行うことは無意味である。)
- ・人口減少等を考えると、費用対効果を含めた新たな医療体制を考える必要がある。
⇒ 山古志診療所のみとした場合、施設管理経費等約300万円の減。
- ・種芋原も虫亀も他の地域同様にクローバーバスを利用することで利用率も上がる。
⇒ ダイヤ改正をする必要があるため、今年度の変更は難しい。今年度は暫定的に市で送迎等も考える。次年度以降に診療所の送迎も含めて多角的に考えていきたい。
- ・オンライン診療は、対面と違い表情など読み取りにくいのではないか。
- ・将来的になごみ苑の2階に診療所を設置するのが良いのではないか。
⇒ 往診患者の5割がなごみ苑のデイサービスを利用している。その際に診察ができるとともに、なごみ苑の利用率も上がる。今後、リハビリなどの導入にもつながるかもしれない。
- ・フェニックスネットをオンライン診療とケアマネの情報共有として活用できないか。